

◎生死一大事血脈抄講義

三代の師弟によって示された広宣流布に戦う根本精神が異体同心の組織の中に脈動していくとき、創価学会は、民衆を救済する仏の大生命力を恒久的に持ち続けることとなります。（中略）

そして、そのような仏の力を具えつつ、いかなる三障四魔の大難にも打ち勝つ「異体同心の和合僧」「金剛不壊の師弟の大城」として聳え立つのが、創価学会の組織なのです。

ゆえに戸田先生は、「未来の経典には『創価学会仏』の名が記される」と予見なされました。大聖人に直結した広宣流布遂行の和合僧団である創価学会は、それ自体が仏そのものなのである。これが、戸田先生の大確信であられた。

戸田先生は幾度も、「戸田の命よりも大切な学会の組織」と語られました。

私も、何よりも大切な仏意仏勅の和合僧団を、戸田先生の命そのものとして、お預かりしてきました。そして「異体同心」を根幹の指針として、この創価学会を大発展させ広宣流布を進めてきました。

（『生死一大事血脈抄講義』142ページ）